

八幡浜支局地域農業育成室 西予農業指導班（2月分）

標 題	障がい者施設スタッフを対象としたジョブコーチ育成研修会を開催		機関名	八幡浜支局地域農業育成室 西予農業指導班
年月日	令和5年2月3日	場所	西予市 野村福祉園	
指導対象	野村福祉園及び八幡浜・大洲圏域障がい者就労支援施設スタッフ（10名）	連携機関		
普及指導内容	<p>○農福連携ビジネスのさらなる展開を目指して、障がい者施設スタッフが農業に携わるために必要な知識や技術の向上を図ること目的に、農業版ジョブコーチ育成研修会を開催した。</p> <p>○講師の愛媛大学上野秀人教授が、土壌管理の基礎と実践について講義及び現地指導を行い、当班からは農作業安全について啓発を行った。</p>			
結果と今後	<p>○参加した施設スタッフからは、「畑の土壌状態による管理技術や農業機械の取扱いによっては大事故につながることにについて、理解を深めることができた」との感想が寄せられた。</p> <p>○当班では、農業分野への障がい者のさらなる就労促進を目指し、ジョブコーチの育成や、農福連携の推進体制の整備を行っていく。</p>			
				<p>左：現地で土壌状態確認 右：農作業事故事例紹介</p>

票 題	アシストスーツ着用によるサポート効果を体感		機関名	八幡浜支局地域農業育成室 西予農業指導班
年月日	令和5年2月6日	場所	西予市教育保健センター	
指導対象	西予市認定農業者、青年農業者、女性農業者（54人）	連携機関	西予市、JA ひがしうわ	
普及指導内容	<p>○農作業の軽労化が期待されるスマート農業技術のアシストスーツについて、商品化されている国内4メーカーの機材比較や着用体験を実施した。</p> <p>○着用体験では、農業者が実際に着用し、腕、腰、脚のサポート効果を体感した。また、農作業時にも体験できるようにアシストスーツの貸出を行い、使用して感じたことや問題点を収集することとしている。</p>			
結果と今後	<p>○参加者からは、「農作物の収穫、草刈りで使用したい」「長時間の立作業に使いたい」など、効果を実感する声が多く聞かれ、アシストスーツへの理解を深めるよい機会となった。</p> <p>○農作業の軽労化に向け、今後も体験会の開催や貸出を行い、導入・普及に向けた方策を検討する。</p>			
				<p>左：アシストスーツの紹介 右：アシストスーツ着用体験</p>